

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

9587

偉人先人顕彰事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	偉人先人顕彰事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 文化振興課 宮脇 進 435-1194
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	本市の名を高めた個人を、誇るべき郷土の人物として市民に広く知らしめ、市民のふるさと意識の高揚に資する。		本市の出身者又は本市にゆかりの深い者のうち、近現代史上、教育、学術、芸術、スポーツ、産業その他の分野において文化の発展に貢献し、本市の名を高めるうえで顕著な功績があった個人を顕彰し、その功績を紹介する。			
事業内容		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
		津本陽氏の顕彰に伴い、本庁舎内「和歌山市の偉人・先人コーナー」を改修。偉人・先人ゆかりの地を紹介するマップパネルを設置。また、農学博士高橋克己氏の生誕地を整備し、看板を設置して氏の功績を顕彰。	陸奥宗光の銅像建立50周年をホームページや博物館の特別展示により紹介した。また、南方熊楠生誕の地の石碑を設置した土地の所有者と協議を行い、生誕の地の顕彰の継続を図った。	偉人・先人について、市のホームページや小冊子などで広く紹介。	偉人・先人について、市のホームページや小冊子などで広く紹介。	偉人・先人について、市のホームページや小冊子などで広く紹介。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,116	1,116	0	0	0	0	0	0	0	0
伸び率(%)	153.6%	153.6%	△100%	△100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	4,141	4,061	3,957	4,189	3,366	1,571	1,571	0	1,571
	正規職員以外	369	0	1,951	1,951	1,951	616	1,181	0	1,181
	小計	4,510	4,061	5,908	6,140	5,317	2,187	2,752	0	2,752
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,116	1,116	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.52	0.51	0.51	0.54	0.45	0.21	0.21	0.00	0.21
	正規職員以外	0.17	0.00	0.38	0.38	0.38	0.12	0.23	0.00	0.23
主な予算内訳	委託料: 0千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
各種偉人・先人顕彰事業の実施回数(冊子や実績看板の製作など)		回	2	1	1	1	1
			3	0	0		
			150%	0%	0%	%	%
偉人・先人顕彰事業に関する広報の実施回数		回	2	1	1	1	1
			2	3	1		
			100%	300%	100%	%	%
			目標値				
			実績値				
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	本市の発展に寄与し、本市の名を高める上で顕著な功績のあった者を顕彰することにより、偉人・先人に敬意を払うとともに、彼等の功績等を後世に語り継いでいくことで、市民のふるさと意識の高揚に資するなど重要な事業であるため。
見直し・改善内容	本市の偉人・先人の功績などを市民に広く知ってもらえるような取組を継続し、本事業の充実を図る。